

令和3年度の野生鳥獣による農作物の被害状況について むらづくり課

- 本県の令和3年度における野生鳥獣による農作物被害額は、前年度より**約1,000万円減少(前年度比-2%)**し、**5億3,761万円**となっている。(図1、表1)
- 平成28年度以降、**イノシシ・シカ等による被害額は減少**しているものの、**カモ類による被害が増加**しており、被害額全体では依然高い水準で推移している。(図1)
- 鳥獣種別では、前年度より、**カモ類の被害額が大幅に増加(+73%)**し、**他の鳥獣種では被害額は減少**した。(表1)
イノシシによる被害が全体の約38%、次いでカモ類が約34%、シカが約10%となっている。(図2)
- 作物別では、**野菜の被害額が全体の約47%**、次いで果樹が約28%、米が約15%となっている。(図3)

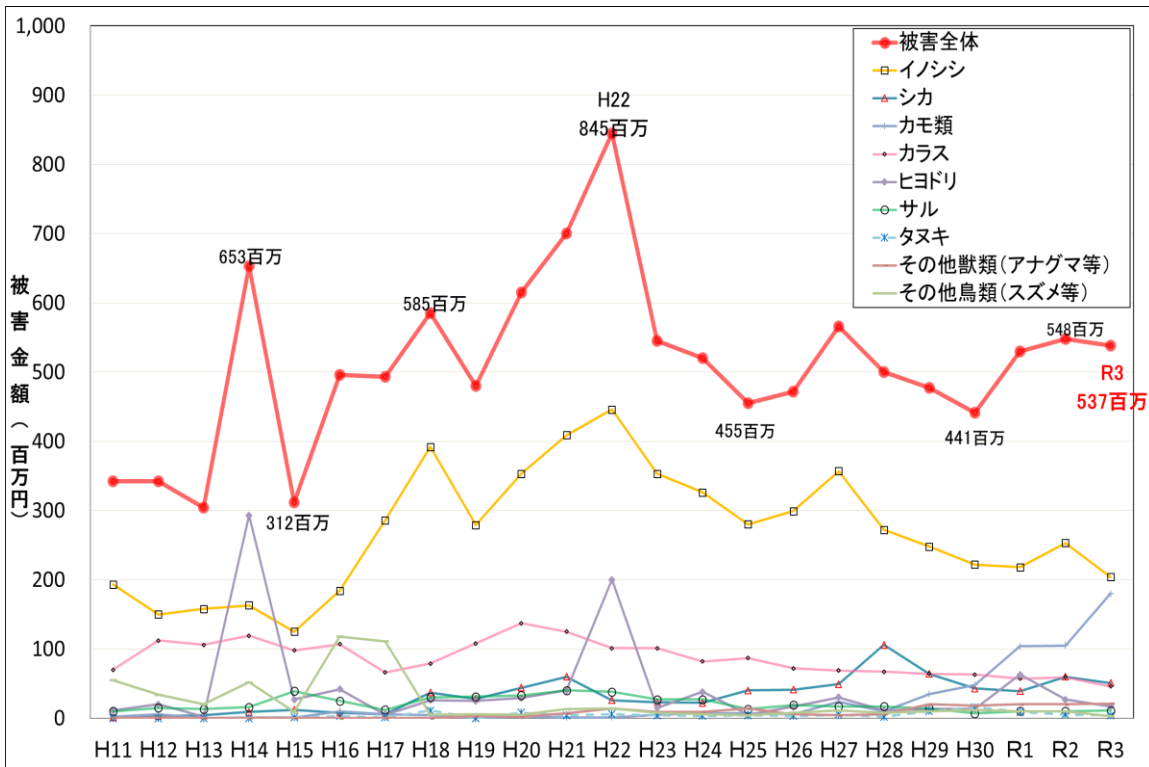


図1 被害額の推移

表1 令和3年度被害額

青文字：減少、赤文字：増加

| 項目 | 被害額 | 対前年度増減率 | 前年度からの増減額 |
|-------------|-----------|---------|-----------|
| 全 体 | 5億3,761万円 | ▲2% | 約1千万円 減少 |
| イノシシ | 2億442万円 | ▲19% | 約4千8百万円減少 |
| カモ類 | 1億8,048万円 | 73% | 約7千6百万円増加 |
| シカ | 5,094万円 | ▲14% | 約9百万円減少 |
| カラス | 4,630万円 | ▲21% | 約1千2百万円減少 |
| ヒヨドリ | 1,699万円 | ▲36% | 約1千万円 減少 |
| サル | 1,058万円 | 3% | 約0.3百万円増加 |
| その他獣類(タヌキ等) | 2,507万円 | ▲2% | 約0.4百万円減少 |
| その他鳥類(スズメ等) | 282万円 | ▲72% | 約7百万円減少 |

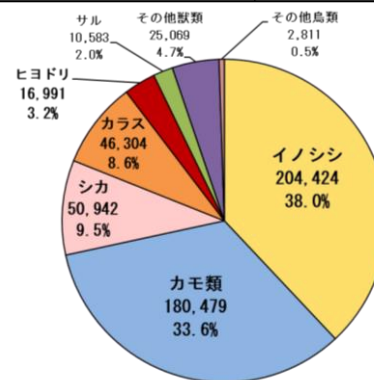


図2 鳥獣種別被害額(千円)

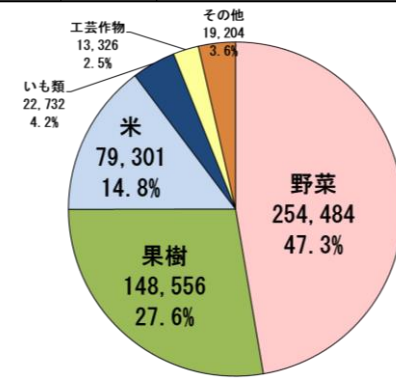


図3 作物別被害額(千円)

- ▶ 地域別では、最も被害額が大きい**八代地域が県全体の約25%**を占め、次ぐ**玉名地域が約16%**、**宇城地域、熊本地域が約12%**を占めている。
- ▶ 被害額の前年度比較では、**八代(前年度比-20%)**、**宇城(-15%)**、**熊本(-11%)**、**阿蘇(-27%)**、**天草(-18%)**、**上益城(-24%)**、**菊池(-12%)**、**鹿本(-55%)**で減少し、**玉名(+254%)**、**球磨(+41%)**、**芦北(+52%)**で増加した。
- ▶ 鳥獣種別では、**イノシシによる被害額が芦北・菊池地域を除く9地域で減少し、カモ類の被害額が八代・玉名・熊本地域で増加した。**

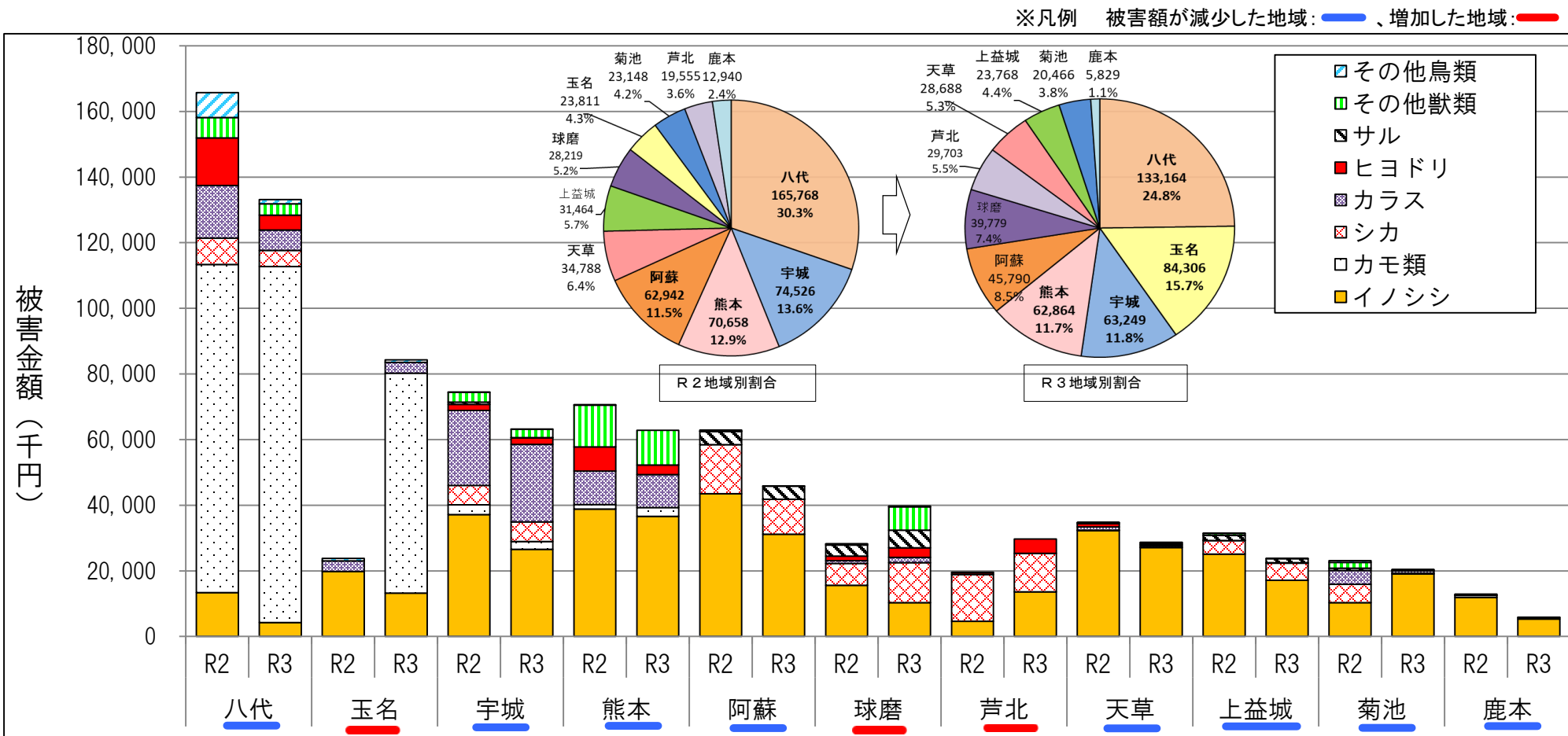


図4 地域別での被害額の推移(令和2年度→令和3年度)